

農村女性による農家レストラン開業とその人的関係

Enterprise of farmers' restaurants by rural women's and their human relationships.

○齋藤 朱未*, 藤崎 浩幸**

○SAITOU Akemi, FUJISAKI Hiroyuki

1 研究背景と目的

農産物のブランド化や加工品の製造・販売、農家レストランの経営等の農村女性による起業数は年々増加傾向にあり、農業の6次産業化や都市農村交流を先導している。しかし、男女共同参画が唱えられてはいるものの社会経験が乏しい農村女性が起業にこぎつけるには苦勞が多いのが実状である。

藤本¹⁾は農村女性起業の成功要因として、起業目的の明確化や資金調達、家庭状況など起業活動に打ち込める環境整備などを挙げている。また起業した女性からは開業資金調達に際し、夫や父名義で融資を受けたり、農業や家事の合間に時間をやり繰りして起業に取り組んでいたりする話をよく耳にする。これらのことから、農村女性起業には女性を取り巻く人的関係が大きく影響していると考えられる。

本研究では農家レストラン^{注)}を開業することができた女性に注目し、その女性がどのような家族や友人、行政等といった人的関係の中で開業に至ったのかを分析することを目的とする。このことは、今後の農村女性に対する起業活動支援を行う際に、有意義なものになると考えられる。

2 研究方法

まず調査対象は、以前のアンケートから内実をある程度把握している事例から、運営施設と飲食店経営等の経験の有無を考慮し、5名の農家レストラン経営者を選定した。運営施設については、個人所有の施設を利用しているか、行政の施設を利用しているかで開業資金の負担や許認可申請等に差が生じ、人的関係にも関係してくると考えた。また飲食店経営等の経験の有無は、開業時に家族や周囲からの賛否に関係すると考えた。

5名の農家レストラン女性経営者の環境は、運営施設を個人で所有し、飲食店経営等の経験がないOとM、飲食店経営の経験があり運営施設を個人所有しているK、もとは行政所有のものを購入して経営し、飲食店経営の経験もあるH、そして行政所有の施設で運営し開業に向けた起業講座の受講経験があるSとなっている。また、すべての経営者が50歳前後で開業しており、Sのみがグループ経営で、他4件は個人経営であった。さらに、赤字経営であったのはOとHで、M、K、Sは黒字経営となっていた。

次に、起業者本人への聞き取り調査から農家レストラン起業者の人的関係を把握し、農家レストランを起業した農村女性の人的関係と農家レストラン開業への関係を考察した。

3 研究結果

「開業の相談をした相手」は、配偶者や行政関係者の名前を挙げた人が多くみられた。

「開業に向けて心強かった理解者」は4件（Hは開業時配偶者なし）が配偶者をあげてい

*岩手大学大学院連合農学研究科 The United Graduate School of Agricultural Science, IWATE University

**弘前大学農学生命科学部 Faculty of Agriculture & Life Science, HIROSAKI University

【キーワード】農家レストラン／農村女性起業／人的関係

た。「家族の反応」について、今回の対象者では強い反対を受けた経営者はいなかったが、Oは長女が起業することに不安を感じ、Sの配偶者と長男は当初反対であった。「友人・行政の反応」に関しては、基本的に賛成し、協力してくれる状況であった。また飲食店経営の経験に関しては、経験の有る人は家族の反対はみられないが、経験が無い人には不安に思う人や反対する人がみられた。

運営施設に関しては、個人所有の施設で農家レスト

ランを運営している場合に開業資金 300 万円程度～2000 万円弱といった負担が生じており、その相談相手として、配偶者や行政関係者があげられていることがわかった。

4 まとめ

本研究の結果から、OやMは開業資金の確保や許認可申請等により問題に行き当たる傾向が高いため、人的関係が多くなっていたことが考えられ、K,H,Sは経験と許認可申請の必要が少ないことから問題を解決していくため、人的関係者が少ないことが考えられる。

農家レストラン開業に向けて必要な農村女性の人的環境について考察してみると、今回の調査では家族の反対はそれほど受けてははず、理解と協力を得られており、配偶者が心強い理解者であったことから、家族の協力が必要であると考えられる。さらに、運営施設を新築する場合や経験不足によって開業時に問題が起こった際に、行政関係者となつなっていくことが必要であり、さらに経営コンサルタント、またはコンサルタント程度の能力を持っている人とのつながりの有無は強く影響してくると考えられた。

1) 藤本保恵「農村女性起業の経営的可能性」日本の農業—あすへの歩み—, 農政調査委員会, 2004

注) 本研究の農家レストランは「農家または農業関係者が自家(地場)食材 6 割以上を使用したレストラン」とした。

農家レストラン概要と調査結果

The outline of farmers' restaurants and their human relationships

農家レストラン経営者		Oさん	Mさん	Kさん	Hさん	Sさん	
年齢 (2012.3現在)		64歳	49歳	62歳	61歳	64歳	
選定項目	運営施設	個人所有				行政所有	
	飲食店経営の有無	経験なし			経験あり		開業に向けた起業講座あり
農家レストラン概要	開業年	平成10年9月	平成19年10月	平成9年3月	平成16年4月	平成16年8月	
	開業時の年齢	50歳	44歳	53歳	53歳	56歳	
	運営形態	個人経営				グループ経営	
	開業の経緯	配偶者や周囲に推された	これから農家経営と地域資源活用を考え、決めた	集落のお母さん達が働ける場所を作らなかった	義母に推された	女性起業家育成講座に参加し、運営を求められた	
	開業資金	300万円程度	1,000万円以上	1,000万円以上	2,000万円弱	0円	
	料理内容	そば	自家・地元産物を活用した軽食	郷土料理	地元加工特産品	薬膳料理	
	年間総売り上げ	300万円	400万円	7,100万円	500万円	2,915万円	
	収益	100万円赤字	100万円黒字	1640万円黒字	80万円赤字	111万円黒字	
	開業時の人的関係	家族	配偶者	賛 協	賛 協	賛 協	反 協
			子ども	長男 賛 非 長女 不 協	賛 協		長男 賛 非 長男 反 協
その他家族				賛 協	賛 協	賛 非	
行政等		普及員	Sさん 賛 協 その他 賛 協				
		自治体職員	賛 協	賛 協		賛 協	賛 協
		経営コンサルタント		賛 協			賛 協
		友人		賛 協			
その他		PTA仲間		賛 協			
		農業生産研究会		賛 協			
		従業員		賛 協			
	SNSコミュニティメンバー		賛 協				
ロゴデザイナー		賛 協					

※ - : 該当なし / 賛 : 賛成 / 反 : 反対 / 不 : 不安 / 協 : 協力 / 非 : 非協力 ■ 心強かった理解者 □ 相談相手